

2019.7.1 <計3枚>

京都大学記者クラブ加盟各社 各位

立命館大学広報課

文化遺産や歴史都市の防災について考察する
「第13回歴史都市防災シンポジウム」開催
日時：2019年7月13日（土）10:30～17:40
会場：立命館大学衣笠キャンパス 存心館2階

歴史都市防災研究所は、7月13日（土）に、「第13回歴史都市防災シンポジウム」を開催いたします。

文化遺産や歴史都市を自然災害や人災等から守る研究や技術開発は未だ十分ではなく、また早急に対応すべき課題が多いのが現状です。本シンポジウムは、代替性のない文化遺産をもつ歴史都市を自然災害から保全し、それを後世に継承するための研究や事例について発表の場を設け、地震、防災、避難計画など多岐にわたるセッションにおいて、広く研究者や関係者の意見交換を行うことを目的として開催するものです。

当日は、文化遺産や歴史都市の防災に関する34のテーマについて討議を行います。また、本学理工学部の深川良一教授が、「地盤災害グループのCOE関連研究を振り返って」と題した特別講演を行います。

本シンポジウムが、過去に経験した災害の歴史を知り、歴史都市防災の未来について考えるきっかけになれば幸いです。

記

日時：2019年7月13日（土）10:30～17:40（10:00受付開始）

会場：立命館大学衣笠キャンパス 存心館2階

内容：学術論文発表、特別講演など

※詳細は別紙をご覧ください。

※プログラムが英文表記になっているものは、英語で行われます。

参加費：無料、事前申込み不要。どなたでもご参加いただけます。

ただし、シンポジウム終了後の意見交換会には参加費（一般2,000円、学生1,000円）が必要です。

主催：立命館大学歴史都市防災研究所

詳細URL：<http://www.r-dmuch.jp/jp/project/symposium/program.html>

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学歴史都市防災研究所 シンポジウム事務局 担当：吉川

TEL. 075-467-8801（平日9:30-17:00）

<http://r-dmuch.jp/jp/>

別紙

プログラムの詳細(内容は変更になる場合がございます)

	A会場 (ZS201)	B会場 (ZS207)	C会場 (ZS206)
10:30~11:50	A1. 防災技術(1)	B1. 防災技術(4)	C1. 歴史災害
13:00~14:20	A2. 防災技術(2)	B2. 防災計画(1)	C2. 地理・避難
14:35~16:05	特別講演 (A会場 ZS201) 「地盤災害グループのCOE関連研究を振り返って」 深川 良一(立命館大学 理工学部教授)		
16:20~17:40	A3. 防災技術(3)	B3. 防災計画(2)	C3. 地域コミュニティ
18:15~19:45	意見交流会(会費制:一般 2,000円, 学生 1,000円)		

【A会場】 ZS(存心館)201

A1. 防災技術(1) 10:30~11:50

- 1.【論文】文化遺産の免震レトロフィット化に関する研究ー借受け鋼管杭を用いる工事の工程管理についてー
- 2.【論文】掘立形式の木造鳥居の耐震性に関する実験的研究
- 3.【論文】3次元立体解析モデルを用いた旧加悦町役場庁舎の耐震性能評価に関する研究
- 4.【論文】石造鳥居の耐震性に関する考察

A2. 防災技術(2) 13:00~14:20

- 5.【論文】振動計測に基づく伝統木造建物の部位別剛性及び質量の推定法
- 6.【論文】石川県穴水町指定文化財「明泉寺燈籠」モデルの転倒実験
- 7.【論文】縮小模型を用いた祇園祭の山鉦の構造特性に関する基礎的研究ー真木の振動性状についてー
- 8.【報告】古代の重層鐘楼の構造特性に関する実験的研究

A3. 防災技術(3) 16:20~17:40

- 9.【論文】壁土の強度試験法の開発と壁土の強度特性
- 10.【論文】与謝野町旧加悦町役場の基礎と外壁の実地調査と材料試験
- 11.【論文】ネ補強繊維の壁土強度への影響
- 12.【論文】伝統木造仕口の回転めり込み反力分布についての考察

【B会場】 ZS(存心館)207

B1. 防災技術(4) 10:30~11:50

- 13.【報告】土塗り壁の耐力を用いた土塗り小壁の骨格曲線の再評価
- 14.【論文】束で分割された土塗り垂れ壁付大断面木造軸組の耐震性能評価実験
- 15.【論文】ネパール・パタンに歴史的組積造建物の漸増動的解析とノンエンジニアド補強効果の検証

16.【論文】伝統的空間における震災備蓄計画に関する研究 ―世界遺産カトマンズ盆地・パタン地区を対象として―

B2. 防災計画(1) 13:00~14:20

- 17.【論文】京都市正親学区の事前復興計画を想定した建築物の類型化及び延焼シミュレーションと防火連担長屋の提案
- 18.【論文】松本城と周辺地域の防災拠点としての能力評価に関する研究 ―帰宅困難者への支援を想定して―
- 19.【報告】京都市西陣地区の事前復興計画を想定した街並みエレメント選定及びそれを用いた街並み構成法の比較
- 20.【論文】ホース延長が可能な改良型市民消火栓の配置計画に関する基礎研究 ～模擬初期消火活動の実証実験と京都市清水周辺地域での改善配置計画を目指して～

B3. 防災計画(2) 16:20~17:40

- 21.【論文】丸亀城の天守および石垣の見え方に関する定量的分析 ―景観的被害を加味した文化財防災の検討に向けて―
- 22.【論文】CVM を用いた金沢市内の文化遺産の防災対策に対する支払意思額に関する分析
- 23.【報告】Deep Learning を用いた AI の歴史都市分野への適用可能性

【C会場】 ZS(存心館)206

C1. 歴史災害 10:30~11:50

- 24.【報告】『大和川付け替え反対訴状添付絵図』に見る旧大和川水系と付け替え反対理由
- 25.【論文】北海道奥尻島における津波と居住の歴史
- 26.【論文】北海道南西沖地震における奥尻島青苗言代主神社例祭の復興過程をめぐる考察
―GIS による祭礼ルートと時間の変化が意味するもの―
- 27.【論文】近年の新聞報道からみた全国の社寺における盗難および放火・不審火被害の時期的・地域的傾向

C2. 地理・避難 13:00~14:20

- 28.【報告】歴史地区における津波避難場所への誘導とアクセス性に関する研究 ―高知県室戸市・吉良川伝統的建造物群保存地区を対象として―
- 29.【論文】伝統的まちなみ地区を対象とした安全な避難経路導出に関する研究
- 30.【報告】熊野参詣道伊勢路「横垣峠」を対象とした観光防災マップの作製
- 31.【論文】『歴史地名辞書データ』を用いた集落地名の地域性の可視化

C3. 地域コミュニティ 16:20~17:40

- 32.【論文】地域コミュニティにおける水害伝承の実態
―滋賀県甲賀市信楽町勅旨区を対象として―
- 33.【論文】豪雪災害における民生委員の情報取得の実態 ―高島市を事例として―
- 34.【報告】Study on Space Renewal of Traditional Streets and Lanes in Southwest China
- Taking Luodai Ancient Town in Chengdu, Sichuan Province as the Example